

JA相馬村青年・女性理事候補者の募集について

当組合の青年・女性理事は、本年9月に行われる予定の第61回通常総会をもって任期満了となります。つきましては、下記の要領にて理事候補者を募集いたします。

記

1. 募 集 枠 青年理事候補1名、女性理事候補2名
2. 募集締切 令和7年5月30日（金）
3. 応募場所 JA本所・総務課

※応募者は選考委員会・理事会で承認され推薦会議を経たのち、第61回の通常総会において選任されます。

青年枠応募基準 青年理事候補者の応募基準は、組合の地区内に住所を有する就任時40歳未満の者で、次のいずれかを満たすものとする。

- ・JA青年部役員の経験を有する者または同程度の経験を有すると認められる者
- ・地域社会貢献活動の経験を有する者
- ・社会的信用が高く、かつ組合の制度、事業に対して知識があり組合の協力者である者

女性枠応募基準 女性理事候補者の応募基準は、組合員または正組合員と生計を一にする家族で、次のいずれかを満たすものとする。

- ・JA女性部役員の経験を有する者またはJA女性部活動において同程度の経験を有すると認められる者
- ・地域社会貢献活動の経験を有する者
- ・社会的信用が高く、かつ組合の制度、事業に対して知識があり組合の協力者である者

営業時間変更のお知らせ

○購買・機械化センターの営業時間（湯口支所のみ）

期間 5月25日（日）まで

平日（月～金）8：00分～17：00分まで

土・日・祝日 8：00分～17：00分まで

**※6月1日（日）～7月6日（日）までの日曜日は、購買課のみ
午前中営業いたします。**

農薬や資材の購入や機械の故障などの際には、お気軽にご利用ください。

購買課では、土・日・祝日は配達できませんので、あらかじめ農薬の準備をお願いします。



地域おこし協力隊 活動記 Vol.111



真由美さん、佐藤教頭先生、織笠先生と田んぼを視察し、大まかにですが年間計画を立てました。

相馬小学校5年生が「田んぼ学習」スタート！
社会科で米づくりを学ぶ5年生。相馬にある田んぼで実際に稲作を体験すれば、教科書だけで勉強するよりも学びが深まるはず。相馬小の工藤校長先生、地域コーディネーターの田澤真由美さんと想いを共有し、実は昨年度から「田んぼ学習」の準備を進めていました。
田んぼは真由美さんが貸してくださり、播種、荒かき・代かき、田植え、収穫、脱穀までの一連の指導・解説は農業振興課の田中裕滋さん、佐々木善久さんが担当してくださることになりました。学習内容や日程については、相馬小の佐藤教頭先生、織笠先生と調整してきました。そついった経緯で、今年度からの新しい取り組みとして、「田んぼ学習」が始まります。



紙芝居タイプの資料を使って苗づくりを説明する農業振興課 田中課長

田園ステーションで播種作業の見学
去る4月24日、5年生は田園ステーションで苗づくり（播種作業）の見学をしました。はじめに田中課長からコメの品種は950ほどあり、このうちおよそ300品種が食用であることなどを教わりました。そして種まき用の機械を見学し、県のブランド米「青天の霹靂」の種もみや土が育苗箱にまかれていく様子を興味深そうに眺めていました。また、塩水を使って選別された品質のよい種もみの袋を持って重さを確かめたり、水蒸気で加温して出芽させる機器を見学したりしました。
苗の良し悪しがお米のでき具合の半分を決めてしまうといわれています。見学を通して、5年生は苗作りの大切さを学んでいました。



ものすごい速さで育苗箱に種が蒔かれ、土がかぶせられていました

私自身（穂坂）、育苗作業を見たことがなかったのも、大人の社会科見学みたいで楽しかったです。

学生インターンを受け入れ、外の風を相馬に：
9月から、法政大学に事務局がある「地域づくりインターンの会」の学生を受け入れます。また、同じく9月に、青森大学の学生も受け入れ、相馬をフィールドに集中講義を行います。学生が地域に入ってくることで、地域の人々が、地域のことを一緒に考えたり、アクションを起こしたりするきっかけになってほしいと思っています。見慣れない若者がウロウロしていたら、声を掛けてあげてください。決して怪しい人ではありません（笑）。美味しいりんごの差し入れも待っています。

